

致知

2007年9月号 目次
表紙の人・鈴木智之氏

誌名の由来 これは中国の古典『大学』に出てくる有名な言葉である。
『致知』とは人間本来の英知を明らかにし、現代人に欠ける『知行合一』の精神をいう。

◎特集◎

「運命を切りひらく」

◎巻頭の言葉◎ 2
リーダーたる者 卑しくなつてはならない
牛尾治朗 シオ機構会長

◎対談◎ 8
一流主義が人を育てる

鈴木智之 アサヒ飲料マーケティング・アジア元メキシカルドバイザー
福地茂雄 アサヒビール相談役

◎インタビュー◎ 18
意思を込めて実行する

大村浩次 アパマンショップホールディングス社長

水野南北に学ぶ節食で運命を切りひらく法 24

中矢伸一 日本読者の会代表

『インタビュー』運命を切りひらく

①劣等感乗り越え 辛い過去に感謝できる自分がある 28

宮本延春 私立豊川高校教諭

②道をひらくリーダーはビジョンへ向かい最短距離で突き進む 34

星野佳路 星野リゾート社長

③大病院から山奥へ 初心を貫いた名医の選択 38

中川武正 川添診療所所長・豊マリアン医療大学客員教授

◎鼎談◎ 44
この世を皆で天国にする

芳村思風 哲学者

てんつくマン 映画監督・脚本家

中村文昭 クロコチンバー社長

◎対談◎ 54

戦国武将はいかに運命を切りひらいたか

童門冬二 作家

安部龍太郎 作家



てんつくマン

「[しょうがない]を漢字で書くと『笑がない』。
『笑がない』って諦めていたら、
笑のない世の中になってしまう。
でも、「やってみま笑！」って笑い、楽しみながら動いたら、
必ず笑いがあふれる世の中になる」(P.50)



鈴木智之

「技術がうまい、へたというよりも、
ハートがいいか悪いか、
顔がいいか悪いかです。
ハートがいい選手が顔つきもいい」(P.12)